

ちとせ観光通信

～千歳一遇～ せんざいいちぐう

発行 一般社団法人 千歳観光連盟

066-0019 北海道千歳市流通3丁目4-1

電話 0123(24)8818

FAX 0123(24)8819

2025年3月18日発行 【再刊第32号】

今号の話題

- A T推進事業で旅行会社招致
市内スポットの魅力を確認
- 氷濤まつりに13万人
インバウンド来場が好調
- ショートトリップ商品造成へ
観光連盟とH A Pが連携

A T推進事業 旅行会社招致

千歳市内スポットを発信

高品質な商品造成を推進へ

観光連盟は2月12～15日の4日間、海外のアドベンチャーツアーズを取り扱う旅行会社を招請した千歳市内ツアーを開催しました。「北海道／千歳・支笏湖水と森の恩恵とともに暮らす街を巡る4日間」をテーマに、支笏湖周辺地域や千歳神社、キリンビール北海道千歳工場など、自然と歴史、産業を感じられるスポットを巡り、魅力をアピールしました。

市内では道の駅サーモンパーク千歳での昼食や千歳川でのラフティング体験、支笏湖でのクリアSUP体験、スノーシューでの森林ウォークを満喫。屋外のアクティビティだけでなく、千歳さまの森さけます情報館、支笏湖

ビジターセンターなども見学しました。

また、千歳神社を訪問して宮司の説明を受け、郷土の歴史の一端に触れたほか、地元の水源を活用してビールを製造するキリンビール北海道千歳工場を見学し、豊かな水の恩恵を受ける千歳の産業を実感しました

A Tを求めるニーズはハードからソフトまで幅広く、長期間のトレイルや、北海道以外の国内各地との結び付けが望まれる傾向にあります。今回はスノーシュー森林



千歳川でのラフティング体験



キリンビールの工場を見学

ウォークでのガイドの評価が高く、満足度の高いアクティビティになったようです。またビクターセンターでの解説や、案内道中にサイクリングや苔のフィールドにも関心が強い傾向が見受けられました。

千歳のスポットは、市内のみの周遊だけでなく、他の地域での観光と組み合わせた行程中のコンテンツのひとつとして組み込むことでさらなるニーズとのマッチングにつながる可能性があります。今後課題を精査しながら、高品質のAT商品の造成を促すよう、招請事業を展開していきます。



千歳神社では郷土史に触れました

氷濤まつりに13万人超

インバウンドの来場好調 シャトルバス利用1万2千人

千歳の冬を彩る「千歳・支笏湖水濤まつり」氷の美術館（国立公園支笏湖運営協議会主催、観光連盟事務局）が2月24日、閉幕しました。開幕日2月1日からの来場者数は13万1072人。暖気により氷像が溶けたことで会期中に中止した昨年の約8万3000人を大きく上回りました。特に訪日外国人観光客（インバウンド）の来場が好調だったことが大きく影響しました。

約3カ月かけて作り上げた氷の会場には、今年も高さ13メートルの迫力あるシンボルタワーや、高さ9メートルのアイス

ウォール、支笏湖周辺のスポットを模した苔の洞門、会場を見渡せる展望台などが登場。温かい飲み物を楽しめるアイスキッチンや、火に当たりマシユマロを焼いて味わえる焚火ブースなども規模を拡大して提供しました。

良好な水質がもたらす支笏湖ブルーの氷像が来場者の目を引きつけたほか、夜間は色とりどりにライトアップされた幻想的な会場内が多くの人を魅了しました。

運営協議会の制作部門では昨年のような暖気の影響を受けないよ



13万人以上の来場者に恵まれた氷濤まつりの会場内

う、1台だったポンプを2台に増設して散水作業の体制を強化し、例年よりも氷を厚くするなど強度の高い氷像を作りました。期間中は好天による気温上昇で多少氷が溶ける日があったものの、強度を保てたため入場制限することもなく、最終日まで見たえのある氷像を多くのの人に見ていただくことができました。

好調な来場者数を記録した背景には、インバウンドの来場が好調だったことを中心に、雪まつりと日程が重なったことによる相乗効果なども挙げられます。会場内では氷像をバックに記念撮影をしたり、降ってくる雪を嬉々としてながめたりする外国人の姿が見られ、特に東南アジアや台湾といった雪の珍しい地域からの観光客を喜ばせたようでした。

渋滞緩和や環境配慮を目的に、新千歳空港からJR千歳駅を経由して会場をつなぐ交通手段として

運行した有料シャトルバス「ブルーライナー」の利用客数は、往復で延べ1万2034人に上りました。想定を上回る利用者は、冬の観光コンテンツとしてのまつりの魅力を示すものでした。

運営協議会では今年のまつりでの成功要因と課題・反省点を踏まえ、次回以降の千歳・支笏湖水濤まつりをより良いものにしていくため協議を重ねてまいります。



マシュマロを焼ける焚き火ブースも人気を集めました

観光連盟・HAP連携

ショートトリップ商品造成へ

短時間で楽しめる観光商品検討

観光連盟と北海道エアポート（HAP）は、ホテルのチェックアウトから新千歳空港での搭乗手

続きまでの空き時間に、空港周辺地域で観光を楽しんでもらう「ショートトリップ」の在り方について、検討を進めています。域内の観光コンテンツをタクシード結ぶことで、短時間でも楽しめる観光商品の提供につなげたいと考えています。

空港内のインフォメーションには、フライト時刻までの過ごし方に関する問い合わせが増えています。市内宿泊施設を午10時にチェックアウト後、午後2時に登場手続きを済ませる場合、約3時間の余裕が生まれます。ショートトリップは、この時間に空港周

辺のスポットを楽しんでもらうものです。

空港周辺には自然景観や酪農業、史跡、工場などの見所があります。一方で、目的地をつなぐ公共交通には運航時刻やバス路線の乗り継ぎなど、課題もあります。そこで、旅行者が観光コンテンツをタクシーで結び、旅行者の満足度向上、地域の認知度向上と観光



効果測定のため、空港内でリーフレットを配布

消費拡大による地域活性化を図ることを念頭に置いて、空港周辺ショートトリップ商品を造成し、効果測定も実施しました。

千歳川でのビューラフティングやキリンビールや北海道キッコーマンの工場見学、空港内での茶道体験など、7商品を企画。久光到着時にパンフレットを配布して販売誘導を行い、3コースに夫婦4組8人、友人2組5人が参加しました。国籍はフィリピン、シンガポール、香港、イギリス、フランス、ドイツ。人気は千歳川スノーラフティングで、北海道の強みである冬のアクティビティを満喫できるコンテンツが注目された結果が浮かび上がりました。

観光連盟とHAPは今後もニーズの調査に努め、空港利用者の支持を集めるコンテンツを造成して地域活性化につなげられるよう取り組みを進めます。

丸駒温泉旅館

二冠達成の栄誉

千歳市幌美内番外地の丸駒温泉旅館が、旅行予約サイトの「楽天トラベル」(東京)が優秀な宿泊施設を表彰する「楽天トラベルアワード2024」の最高位「ゴールドアワード」に選ばれました。丸駒は同時に「日本の宿アワード」にも選定され、道内で唯一のダブル受賞を成し遂げました。

同アワードは、サイトを通した予約数や用客の満足度などを総合的に評価して表彰するものです。

同旅館は1915年(大正4年)12月、初代佐々木初太郎氏が開湯。今年で創業110年を迎えます。創業から1世紀を超える温泉旅館があることは、千歳観光の魅力の奥深さを示すものでもあります。観光連盟として、節目の年の受賞を機としますますの発展を願っています。

イベント情報

▼サケ稚魚放流体験2025

(2024年3月20日～5月11日、サケのふるさと千歳水族館) 午前11時と午後2時の1日2回、各20分ずつ開催。館内でサケの旅についてパネル見学後、サケ稚魚の入ったカップを受け取り、水族館横を流れる小川で放流します。対象は入館者で、放流自体の参加は無料です(別途入館料が必要)。

▼ノーザンホースパークマラソン(5月18日、苫小牧・ノーザンホースパーク内など) 同実行委主催、観光連盟など後援。苫小牧市、千歳市、安平町をまたぐコースのハーフマラソン、ノーザンファーム坂路(競走馬調教場)を含むコースの7キロメートルトレイルラン、パーク内のペアランを実施。参加は有料で、エントリーは3月31日まで。各種目には定員があります。

▼第45回千歳JAL国際マラソン

6月1日、青葉公園など) 千歳市スポーツ協会、日本航空、北海道新聞社主催。観光連盟など後援。青葉公園内を起点に、新緑の林道、千歳川沿い、支笏洞爺国立公園内の豊かな自然の中でランを楽しみます。フル、ハーフ、3キロの各種目を展開。参加は有料で、エントリーは3月31日まで。各種目には定員があります。

▼SORA ON 2025(6月

21日、日本航空大学校北海道新千歳空港キャンパス) 同実行委員会、千歳商工会議所青年部主催。出演アーティスト第1弾として氣志團、ラブサイケデリコ、梅田サイファー、米良美一&井上あずみ、千歳ジュニアオーケストラなどが発表。チケットは前売り入場券6700円など。大学生、専門学校生以下は無料。詳細はSORA ONホームページをご確認ください

編集後記

温泉や銭湯が好きで、週に1、2回ほど足を運びます。肩や背中をほぐしたいときは強めのジャグジーが魅力のあの銭湯、体を芯から温めたいときはあの温泉、といった具合です。

特に露天風呂で、屋外の椅子で温まった体を外気にさらして冷まし、また湯につかって温まるを繰り返します。ほどよく涼しい春や初秋は、心地よさのあまり時間の過ぎるのを忘れて寝入ってしまい、気が付けば「蛍の光」の流れる中、苦笑いのスタッフさんに起こされたこともありました。

支笏湖や千歳市内の銭湯はもちろん、車で30分も走らせると近郊にも豊かな温泉の数々。千歳に住む者ならではの、贅沢な楽しみの一つです。(ひ)